

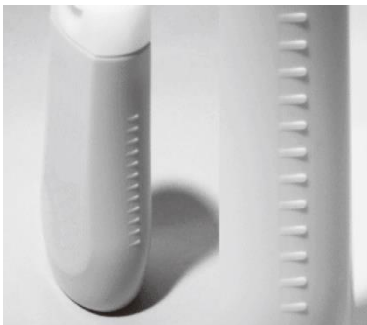
バリアフリーとユニバーサルデザイン

バリアフリーとは

「ノーマライゼーション」とは、「障害のある人も、障害のない人と同じようにnormal（当たり前）な暮らしを送り、それがnormalであるといえる社会の実現をめざす」という考え方です。そのノーマライゼーションを実現させる手段の一つが「バリアフリー」です。例えば、玄関前にある段差にスロープをつけることで、障害のある人にとってのバリアをなくすというのがバリアフリーの考え方です。

ユニバーサルデザインとは

また、バリアフリーとともに、近年では「ユニバーサルデザイン」という言葉もよく使われます。ユニバーサルデザインは、障害のある人だけではなく、より多くの人々が容易に利用できるようデザインすることです。例えば、触っただけでリンスと区別できるような突起がついたシャンプーの容器や、手をかざすだけで水が出る自動水栓などです。その他にも、直感的に内容を伝えられる絵文字（ピクトグラム）などが挙げられます。このように、普段何気なく使っているものが、実はユニバーサルデザインのものだったりします。



チェック

ユニバーサルデザインさえあれば、バリアフリーが不要というわけではありません。ユニバーサルデザインは、「すべての人が使いやすいもの」であることが理想ですが、現実には使えない人、不便を感じる人もいます。できるだけ多くの人々が使いやすいものを提供し、それでもまだ使えない人がいれば、バリアフリーの考え方をもとに、改善したり、補う必要があります。バリアフリーとユニバーサルデザインについての理解を深め、誰もが暮らしやすい社会をつくっていきましょう。

内容についてのお問い合わせは
和歌山県人権施策推進課まで
☎073-441-2566

